



## ■概要

小千谷市は、新潟県のほぼ中央に位置し、日本一の大河・信濃川が市の中央部を流れ、その信濃川が生み出した河岸段丘の地形が特徴的な、豊かな自然に恵まれたまちです。

地名の由来は、古代魚沼郡の四つの郷のうちの一つ「千屋郷」が起こりと言われています。近世には、街道が出会う立地であったことから宿場町となり、小千谷縮の生産地や信濃川水運の船着場としても発展。昭和29年に小千谷市が誕生し、昨年、市制施行60周年を迎えました。

関越自動車道や国道、JRなどの交通網が充実。豪雪に見舞われる厳しい冬と、その雪解けとともに訪れる穏やかな春がもたらす美しい自然の中で、ユネスコ無形文化遺産に登録された「小千谷縮」や特産品の「錦鯉」、「小千谷そば」など、特有の産物が生まれ、人と自然が織りなす多彩な文化が息づいています。

- 面積 155.12平方キロメートル
- 人口 37,703人（平成26年9月30日現在）
- 世帯数 12,711世帯（平成26年9月30日現在）
- 市の花 すいせん
- 市役所 〒947-8501  
小千谷市城内2丁目7番5号  
TEL 0258-83-3511  
FAX 0258-83-2789
- URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

## ■見どころ・味わい

### 【サンプラザ】

小千谷市の産業と観光の拠点として、特産品を展示・販売しているほか、名物・小千谷そばなどの食事も楽しめます。

- 住所 小千谷市城内1丁目8番25号
- URL <http://www.ojiyasunplaza.jp>

### 【小千谷織物工房「匠之座」・「織之座」】

サンプラザ内にある小千谷織物工房「匠之座」は、小千谷縮や小千谷紬などの商品を展示・販売しているほか、「織之座」では、機織り体験も可能です。

- URL <http://www.ojiya.or.jp>



### 【錦鯉の里】

サンプラザに隣接し、「泳ぐ宝石・錦鯉」の美しい姿を、いつでも間近に観賞できます。

- 住所 小千谷市城内1丁目8番22号
- URL <http://www.ojiyasunplaza.jp/nishikikoi>



### 【小千谷そば】

重要無形文化財指定の小千谷縮の工程で使われる「ふのり（海藻）」をつなぎにした、なめらかでコシの強さが特徴です。

## ■ イベント

### 【おぢやまつり】

毎年8月下旬に開催される「おぢやまつり」は、市民総参加により3日間にわたり繰り広げられる、小千谷市最大のまつりです。

名物は「からくり万灯パレード」。からくり万灯とは、動く仕掛け（からくり）を持つ万灯のことで、町内会や市民団体などが創意工夫を凝らして作り上げた「からくり万灯」が、お囃子に乗って街中をパレードします。



### 【片貝まつり】

毎年9月9日・10日に開催される片貝まつりは、浅原神社の秋季例大祭。メインは、ギネスブックに紹介された、世界一大きい正四尺玉花火です。



### 【おぢや風船一揆】

真っ白な雪原にカラフルな熱気球が浮かぶ「おぢや風船一揆」は、小千谷に春を呼ぶ風物詩。熱気球大会「日本海カップ・クロスカントリー選手権」を兼ねたイベントで、2月下旬～3月上旬の2日間にわたって開催されます。



### 【牛の角突き】

「ヨシター！」という勢子の掛け声が飛び交い、牛同士がぶつかり合う。迫力満点の牛の角突きは、江戸時代後期の滝沢馬琴が書いた「南総里見八犬伝」にも記述があり、地域の伝統行事として長年守り継がれてきました。

巨体をぶつけ合って興奮している牛を引き離すため、飛びかかって鼻を押さえる勢子の妙技や勇姿も見ものです。

